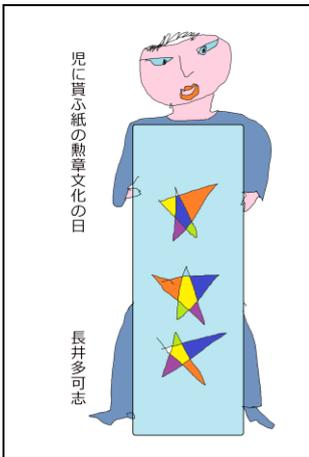




かたくなに守る手書きや文化の日

白井道義

書家でさえパソコンで手紙を書く時代。だから手書きにこだわる人には文化の継承という使命感がある。「手書き文字保存会」を設立しようか。



児に貰ふ紙の勲章文化の日

長井多可志

文化の日には永年勤続などの方々が勲章を受ける。吾子からもらう勲章は紙といえども重みが違うんだよなあ。こちらの方が値打ちものだね。



飛ぶたびにスクワットしてハッタかな

相原共良

飛蝗も飛ぶ直前は力をためて一瞬しゃがみ込む。それをスクワットしているのだと端的に表現して面白い句になった。気付きの一句として秀作。



この焚火果たして違法か合法か

千守英徳

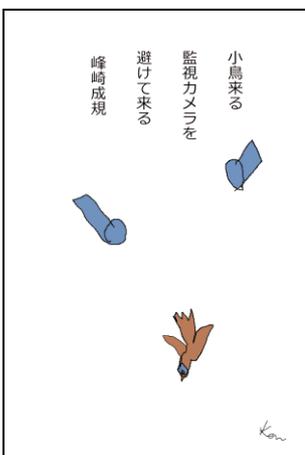
廃棄物を燃やす行為を「野焼き」と言い、平成十三年に法律で禁止された。農林業や伝統行事などは例外だが、「焚火文化保存会」も要るね。



はばかりの外にいつもの金木犀

土屋泰山

トイレは、かつて「厠」や「はばかり」と言われ、近くに金木犀が植えられた。芳香をして悪臭を消す役割を負わされたあげく、便所花と呼ばれた。



小鳥来る監視カメラを避けて来る

峰崎成規

監視カメラが増えた。犯罪防止に役立っているのだろうが、それは疑われる社会ということでもある。不審者扱いに不愉快なのは小鳥も同じ。